



世民律師事務所 SHIMIN LAW OFFICES

## 世民律師事務所パートナーの高師坤弁護士、上海交通大学のクラウド・フォーラム「感染症流行下の中日関係と東南アジア地域経済」に招待を受け参加

2020年6月20日、上海交通大学日本研究センター主催のクラウド・フォーラム「感染症流行下の中日関係と東南アジア地域経済」が無事開催されました。



高師坤弁護士は、世民律師事務所を代表して東京から今回のクラウド・フォーラムに参加し、「中日民間協力に対して両国における感染症流行の対応姿勢がもたらす示唆」と題して意見発表をしました。高弁護士は、「日本では感染症の流行防止と経済運営のバランスをとり、不確定性を限りなく少なくする点に関心が集まる。日本企業は中国の経済・貿易協力に対して期待しつつも不安を抱え、新型コロナウイルスによる肺炎流行がもたらす『ニュー・ノーマル』の下では、中

日の民間協力がより重要な役割を發揮する」という見方を示しました。

中国人民大学、上海国際問題研究院、復旦大学、中国現代国際関係研究院、国際関係学院国際政治科、中国海洋發展研究会、上海對外經貿大学、上海大学、上海外国語大学、中国人民解放军軍事科学院、同濟大学、日本の Laox、日本貿易振興機構中小企業海外サービスプラットフォーム及び上海交通大学の専門家・学者数十名及び実務家が本フォーラムに参加しました。

上海交通大学外国語学院の丁劍党委員会書記が本フォーラムの開幕式を取り仕切りました。また、上海国際問題研究院學術諮詢委員会の吳寄南副主任、中国人民大学の時殷弘教授、復旦大学日本研究センターの高蘭副主任など多くの国際関係専門家がフォーラムの場で中日関係の問題について自身の観点及び意見を發表しました。